

広報 わかた

7

2006

No. 15



にこやかに せわやかに かるやかに
第15号掲載：万五湖ツアーチーム一斉

第15回若狭・三方五湖ツーデーマーチに延べ5,272人

五湖めぐり、熊川宿へウォーキング

5月20日、21日に「第15回若狭・三方五湖ツーデーマーチ」が開催されました。日本マーチングリーグに登録されている大会とあって、北海道から沖縄まで全国各地から集まったウォーキング愛好者は2日間で延べ5,272人。心地よい風が吹く湖畔沿いや歴史ある道など、地元にいってもほとんど歩くことがない道を楽しみました。

1日目はあいにくの雨となりましたが、瓜割の滝や熊川宿を目指し、コース途中にはバスや電車を利用するユニークなコースを満喫しました。

2日目は快晴となり、参加者は涼しげな湖畔沿いや、雄大な日本海を眺めながらウォーキングを楽しんでいました。



また、今回はコースをリニューアルしたことなどから、参加者全員にアンケートを行い、202人から回答が得られました。「本大会に参加された理由は」の問いには、「三方五湖の景色がきれいだから」、「民家の料理がおいしいから」など、自然や料理を楽しみに訪れた人がたくさんいました。

「今回リニューアルしたコースについて」は、「瓜割の滝や熊川宿が目新しく感じた」と、新鮮だったようです。コース途中のJR小浜線利用については、「地域活性化のためには良かった」という回答があったものの、「電車の待ち時間が長かった」、「最後まで歩きたい」などの声もいただきました。



瓜割の滝の水はうま〜い

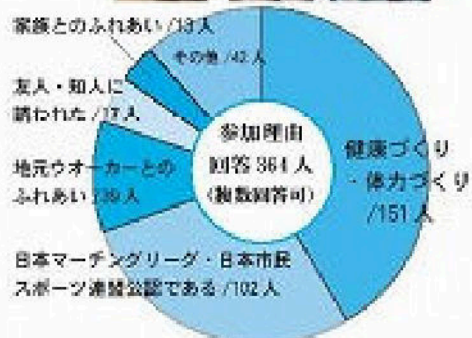
自衛隊員の
ゲキで出発電車を利用するコースって
珍しいな

ぐずまんじゅう最高

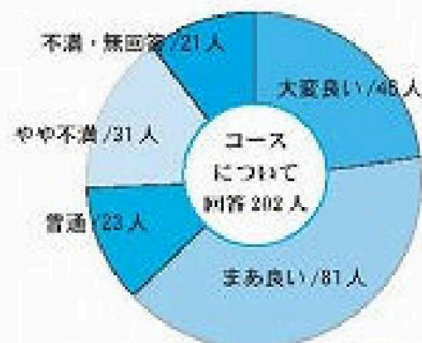
農機具に腰かけて



親子で仲良く、友達と仲良く



↑参加する理由として一番多かったのが、「健康づくり・体力づくりのため」で約4割もいました。



↑初めて熊川宿などを回るコースを設定した今大会、約6割の方から「大変良い・まあ良い」の回答が得られました。



10kmコース出発のまーす



今日のわしの歩くコースは……



元気でいってらっしゃ〜い

署名お照りします



町の農業活性化はここから始まる

かつての教室は居住空間に 遊技場は研修や農作物の加工の場に

町が進めている「就農定住促進計画」。そのひとつとして、農業の担い手を支援するための宿泊・研修施設と農産物の直売所を兼ね備えた「就農支援施設」が、3月末に完成しました。かつて野木地区の園児たちの遊び場だった旧野木保育所を改装。教室は4世帯が生活できる居住空間になり、すでに1組の新規就農者が入居しています。遊技場は研修や交流を行ったり、農産物を加工したりする場になりました。敷地内には農産物の直売所を新しく建設。この直売所では「たいしたもん屋野木店」の開店が決まっており、この施設を中心に農業の活性化が期待されます。



旧野木保育所を改装した就農支援施設



平成15年に開店した南にある「たいしたもん屋」。野木店は2号店としてオープンします。



たいしたもん屋野木店の開店を待つ会員さん

甘みが増す肥料をやっています！

田中 良治さん（下野木）

EM菌に米ぬか、糠かす、魚粉を混ぜて発酵させた肥料をやっています。この肥料をまくと、甘みが増しておいしいですよ。“じゃがいも（男しゃく）”も収穫間近です。



たいしたもん屋野木店の開店を待つ会員さん

私はお花専門です！

東山 千里さん（兼田）

たくさん種類ののお花をお届けします。種類が違えば栽培方法もそれぞれ違い難しいですが、お客さんに喜んでもらうために、毎日花の本を見て知るまで勉強しています。

た い し た も ん 屋 野 木 店

7月7日(金) オープン

地元の採れたて、もぎたてをお届けします！

「たいしたもん屋」は農産物などの直売所です。平成15年11月に南に開店した「たいしたもん屋」の2号店として、就農支援施設に「たいしたもん屋野木店」がオープンします。地元の人が作った農産物や地元で採れた海産物など、生産者自慢の品が店頭並びます。

野木店の開店時間は
火曜日～日曜日
朝10時～夕方6時まで



たいしたもん屋野木店の開店を待つ常雄さん

ももたろうは甘みたっぷり！

東 常雄さん(南)

ももの形に似た甘みたっぷりの完熟トマト“ももたろう”を作っています。アイスクリームやアンコなどに使う“ムラサキイモ”も作ります。



たいしたもん屋野木店の開店を待つ賢さん

若い人向けの野菜も作ります！

新田 賢さん(玉置)

生きるためには野菜が不可欠だということを若い人にPRしていきたいです。“チンゲンサイ”など体に良いものをどんどん作っていきたいです。



たいしたもん屋野木店の開店を待つ治子さん

“新鮮”“質”“美味”をお届けます！

西 治子さん(北)

低農薬で作った野菜なので、見かけは良くないかもしれませんが、質や味には自信があります。“越のルビー”や果物代わりに“まくわり”なども作っています。

会員になるためには

「たいしたもん屋」に出品するためには登録が必要です。登録会員は、今のところ78人です。登録料2,000円・年会費2,000円で、売り上げの15%は運営のための手数料です(残りの85%は生産者の売り上げになります)。価格は生産者が自分でつけることになっています。たいしたもん屋鹿羽店・野木店とも若狭町物産協会が経営します。

●問い合わせ

若狭町物産協会 (TEL 0770-62-0282)

産業課 (TEL 0770-62-2705)

江守徹が朗読する

歌のないオペラコンサート

舞台、テレビ、映画と大活躍の俳優・江守徹を迎えての歌のないオペラコンサートです。音楽は福井市出身の笠松泰洋。語りのスペシャリスト江守の朗読と、笠松の音楽とで構成する本邦初演のこのステージは、演劇とコンサートを掛け合わせ楽しい空間を作り出します。

9月10日(日) 14:00 開演

【全席指定】大人 3,000円 学生 1,500円

※このコンサートは、福井県立音楽堂との連携によるものです。

— 江守徹さんからのメッセージ —

福井県は越前と若狭の2つの自然と文化圏からなっており、山と緑、水と海に恵まれた素晴らしいところです。今までも芝居で福井市には20歳のころから何度も行っていますが、若狭町は初めてです。この度は越前と若狭の両方に行けるのがとても楽しみです。朗読と音楽のコラボレーションは今まで何度も経験していますが、今回は初めて笠松泰洋さんの書き下ろし曲で、僕の大好きな太宰治の「走れメロス」と川端康成の「雪の小説」を朗読します。いわば本邦初演で、今からわくわくしています。

今、全国にとってもよいホールが生まれています。若狭の「バレア若狭」、今年の4月に開館したばかりですが、きっと朗読にも音楽演奏にも心地よいホールに違いないと、大いに期待しています。

— 江守徹 —



チケット好評発売中

ダ・カーポコンサート

10月14日(土) 19:00 開演

【全席指定】大人 3,500円 学生 1,500円

曲目:「野に咲く花のように」

「結婚するって本当ですか」ほか



— ダ・カーポからのメッセージ —

僕たちダ・カーポはデビューして今年で33年になります。そして私ごとで恐縮ですが、結婚して25年、銀婚式を迎えました。そして、若狭町でのコンサートには娘の麻理子も参加させていただきます。当日は、「結婚するって本当ですか」などのヒット曲を始め、童謡や抒情歌、僕たち世代の青春歌、フォークソングも歌いたいと思います。これまでダ・カーポの歌で皆さんの心が癒されたり、元気を出してくれたら！という気持ちで歌ってきました。それは、取りも直さず皆さんからダ・カーポが元気をいただいているということです。若狭は久しぶりですが、皆さんにお会いできるのを今から楽しみにしています。

— ダ・カーポ 榎原政敏・広子 —

7月7日(金) チケット発売

もも子

長編アニメーション映画

「かえるの歌が聞こえるよ」

7月8日(土) 1回目 10:00から 2回目 14:00から

共催：若狭町子ども会育成連絡協議会
青少年育成若狭町民会議

いつも酸素ボンベで呼吸しているもも子。明るく負けず嫌い、大真横漫なもも子。そんな妹を愛おしく思う兄・力(りき)の優しさとの心の成長を中心に、家族愛と鶴越、健常者と障害者の共生の問題などを通して、生きる喜びと悲しみを感動的に描きます。児童書「もも子・ぼくの妹」(大日本図書・刊)を原作として、豊かな情緒性と娯楽性に富んだアニメーションです。



原作・星あかり

入場無料

琵琶の音でつづる小泉八雲の世界

上原まり 筑前琵琶の世界

7月22日(土) 19:00開演

【全席指定】大人3,000円
学生1,500円

筑前琵琶と狂言が融合する！

夏の暑さを忘れて、怪談「耳なし芳一」などでひとときの“涼”をお楽しみください。



茂山正邦

茂山 茂

茂山逸平

チケット好評発売中

上方寄席芸能

「繁昌亭がやってきた！」

7月30日(日) 14:00開演

出演：桂春団治、桂小米朝ほか

約80年ぶりに落語専門の寄席「天満天神繁昌亭」が大阪に復活します。落語について、知っておきたい基礎知識の紹介をはじめ、古典落語、新作落語に各種“色物”をおりませ、日本の伝統芸能をお楽しみいただけます。



桂春団治

※小中学生、高校生およびその保護者が対象です。

桂小米朝

入場無料(入場券が必要です)

第3回心のふるさと三方の四季

フォトコンテスト 入賞作品展



パレア若狭ギャラリー
6月29日(木)まで

長谷光雄画

「鉛による平面作品」

パレア若狭ギャラリー

7月1日(土)～21日(金)

チケットの受け付けは9:00～18:00まで
(火曜日は音楽ホール・図書館はお休みです)

パレア若狭管理課 TEL 0770-62-2508

パレア若狭図書館 TEL 0770-62-2505

まちの話題

今日から私も大学生

ほのほの大学開講(5/25)

町内の60歳以上の方を対象とした「ほのほの大学」が開講しました。開講式の後、福井大学・氏家靖浩助教による開講記念講演が行われました。

申し込みのあった46人の受講生は、11月までスポーツや調理実習、時局講演など10講座に取り組み、教養と交流を深めます。



初回講座を楽しく受講する受講生

夢の架け橋 快速鉄道の実現へ

琵琶湖若狭湾快速鉄道建設促進期成同盟会総会(5/27)

若狭町と滋賀県高島市を結ぶ「琵琶湖若狭湾快速鉄道」の建設促進期成同盟会総会と講演会が、パレア若狭で開催されました。嶺南や高島市の自治体や関係者ら約450人が参加。総会では、新線が関西圏との交流を深める重要な鉄道として、県域を越えた建設運動の協力をしていくことなどが報告されました。総会后、第3セクター鉄道を1年で黒字にした実績を持つ、埼玉高速鉄道(株)の杉野正社長が講演。杉野氏は、「第3セクターの経営者は民間から雇用した方がよい」、「電車の本数を増やせば利用者も増える」などと新線成功の秘訣を話しました。



新線建設にエールを送る埼玉高速鉄道の杉野社長

元気な観光地目指して 観光協会がひとつに

三方・上中の観光協会が合併(5/30)

(社)若狭三方五湖観光協会と若狭上中観光協会が合併基本協定書を交わし、一体化しました。5月30日にショッピングセンターレピアで行われた合併調印式には、両観光協会関係者ら約30人が出席。賑やかな雰囲気の中、両観光協会長が協定書に調印しました。引き続き会長を務める(社)若狭三方五湖観光協会の森下幸一会長は「若狭町にたくさんの観光客を呼び込み、町を活性化させたい」とあいさつしました。合併後の名称は、「(社)若狭三方五湖観光協会」です。



堅い握手を交わす松岡喜一(左)会長、森下裕助(中)副会長、森下幸一(右)会長

※広報紙に「あなた」が写っていましたら役場企画情報課にご連絡ください。写真を差し上げます。(TEL0770-45-9110)

このまま おさんポニー行きたいな！

わかば保育園でふれあい動物園を開催(6/6)

ポニー、ヤギ、ヒツジ、リクガメ、イグアナ・・・10種類以上の動物が、わかば保育園にやってきました。動物が大好きな子どもたちに、見て、触って遊んでもらおうと町子育て支援センターと母親クラブが計画。町内に住む未就園児の親子を対象に、ふれあい動物園が開かれました。訪れた約100人の親子とわかば保育園の園児たちは、ポニーに乗ったり、ヤギにえさをあげたりと、動物たちとの楽しいひとときを過ごしました。子育て支援センターでは、毎月わかば保育園などでお楽しみ行事を開催しています。



こんな小さい子もポニーに乗ったよ

福井梅 県内外へ初出荷

福井梅の収穫始まる(6/8)

町の特産品・福井梅の収穫が始まり、JA三方五湖選果場にはもぎたての梅が次々に運ばれました。この日収穫が始まったのは梅酒などに加工される「刻先ウツクサキ」で、選別後県内外へ向け初出荷。関係者らが垂れ幕をつけたトラックを見送りました。また6月16日には、梅干しなどに加工される「紅映ベニカミ」の収穫も始まりました。JA三方五湖によると、今年の梅の収穫量は平年並みの1,900トンになる見込みとのこと。



初出荷のトラックを見送る梅生産者たち

優勝のきやま 県大会へ

第1回若狭町女性の会バレーボール大会(6/11)

福井県婦人バレーボール大会の予選を兼ねた「若狭町女性の会バレーボール大会」が、三方体育館で開催されました。7チーム約80人が参加し、トーナメント方式で争われました。優勝した「きやま」は若狭町の代表として、11月12日に福井市で行われる県大会に出場します。なお準優勝は上中地域の「クッキーズ」でした。

スポーツニュース



記念すべき第1回大会を制した「きやま」



オーストラリア・シドニーで記念撮影

2006年若狭町オーストラリア派遣研修「LET's 豪 夢大陸」

オーストラリアへ8日間 帰国した中高生23人が研修報告

3月25日、豪へ出発

国際化時代に活躍できる人材の育成を目的とした「オーストラリア派遣研修（若狭町国際交流協会・若狭町主催）」が実施されました。申し込みのあった中高生23人と引率者4人は、3月25日にオーストラリア・ニューサウスウェールズ州へ向け出発しました。

1週間の海外生活

参加者はそれぞれ「日本の音楽を教えて、現地の音楽を教えてもらう」、「現地で人気の家庭料理を教えてもらう」などの研修テーマを設定。4月1日までの約1週間、研修テーマの達成を目指すとともに、

異国の自然や文化を肌で感じ、ホームステイなどを通して現地の人たちと交流を深めました。

この感動を多くの人に

帰国後、5月17日に帰国報告会が開かれ、研修テーマの成果などを報告し合いました。

「海外研修を通して得たものは」との問いに、「その人が何を言おうとしているのか、ちゃんと分かってあげようとする姿勢」、「外国の人は、自分の気持ちをストレートに伝えている」などと答え、人とのコミュニケーションを学んだようでした。

「コミュニケーションをとるために、工夫したこと」については、「伝わらない場合は、紙

に書いたり、身ぶり手ぶりで伝えたい」と、何とかして伝えようと一生懸命だったようです。

「ホームステイの感想」として、「本当の家族のように接してくれたことは一生忘れない」と、現地の人の温かさにも触れたようでした。

このほか、「海外就職の道を考えている」、「英語の先生になりたいと思った」と、自分の将来を見つめる参加者もいました。また参加者の多くが、「自然な英語の発音を身につけられた」、「現地の学校の授業を受けることができ、とても勉強になった」、「この感動をたくさんの人に味わってほしい」と答え、今回の研修が、参加者にとって心に残る、実りある研修になったようです。